

目次

1. はじめに	1
2. マップの使い方を確認しましょう	2
3. 雨の強さと雨量の関係を知っておきましょう	3
4. 集中豪雨などによる自然災害について知っておきましょう	5
5. 日頃から準備をしましょう	8
6. 防災情報を集めましょう	10
7. 避難方法と危険箇所を確認しましょう	11
8. 避難の際の注意事項を確認しましょう	13
9. 内水ハザードマップの見方を確認しましょう	14
10. 地域分割図	15
11. 我が家の防災について確認しましょう	48

内水ハザードマップ

避難所一覧表・凡例 14

北信支所・東部支所北側	16	飯坂支所	40
本庁北側・東部支所南側	18	飯野支所	42
本庁南側・渡利支所北側	20	桜台・蓬萊・立子山・松川・飯野地区	44
渡利支所南側・杉妻支所	22	茂庭地区	45
西支所西側	24	庭坂地区	45
西支所東側・吾妻支所西側	26	大波地区	46
吾妻支所東側	28	土湯温泉町地区	46
吉井田支所	30	高湯地区	47
信夫支所北側	32	水原地区	47
信夫支所南側	34	松川地区	47
清水支所東側	36	立子山地区	47
清水支所西側・信陵支所	38		

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 1JHs 1031
測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 170

1. はじめに

マップの役割

本マップは、自分の命は自分で守る「自助」、地域の安全は地域で守る「共助」、行政が行う防災対策である「公助」をバランスよく高めることにより、浸水被害を事前に防いだり(防災)、軽減(減災)を図ることが役割になります。

なお、内水による浸水被害は身近なところで発生するので、内水による浸水被害から自分の命は自分で守ること(自助)が必要になります。

「内水による浸水」と「外水による浸水」の違い

内水による浸水

短時間の強雨(集中豪雨やゲリラ豪雨)などにより、下水道・道路



側溝・水路などの排水施設から円滑に河川へ排出しきれず、そこから雨水が溢れだし浸水が発生することです。

浸水は身近な場所や、河川から離れたところでも発生します。

内水ハザードマップ

外水による浸水

広範囲にわたり大雨が降ることにより、河川水が増水し、河川堤防から水が



溢れ出したり、堤防が壊れたりして、河川の水が住宅地などに流出することにより浸水が発生することです。

洪水ハザードマップ

マップ作成時の降雨量

マップの作成にあたっては、浸水シミュレーションの実施(福島市の過去最大降雨量である平成29年7月28日に記録した1時間当たりの降雨量71mmを採用)と内水による浸水を対象とした浸水実態を聞き取りし、マップに反映させました。